

# 『新編 新しい地図帳』の 様々な活用例

～『新編 新しい地図帳』は多様な場面で楽しくご利用いただけます～

## 社会科の授業で



自分たちの市や県を調べるために、都道府県別の地図が活用できるといいな。

3年・4年

5年

国土の学習で出てくる場所は、どのような地形のところなのだろう。



↑ QRコンテンツに収録している都道府県別の地図は地域学習に活用でき、印刷することもできます。

6年

歴史の学習に出てくる場所は、どこにあるのだろう。



↑ 地図帳には、歴史学習に出てくる地名がわかりやすく示されています。

← QRコンテンツに収録している四つのドローン動画は、地形の特色を視覚的にわかりやすく見ることができます。

## 外国語の授業で



↑ 冒頭の世界地図は、全ての国名や特産物などのイラストを掲載しているほか、世界の「ありがとう」の言葉を示しており、外国語の学習でも活用できます。また世界の地図の中で、世界の動物(p60)や世界の料理(p62)を掲載しています。

## 家庭科の授業で



← p82「日本の食文化」の地図には、特色ある郷土料理とぞうにを掲載しており、家庭科の学習でも参照することができます。

← QRコンテンツには、社会科の米づくりの学習で事例としてよく登場する山形県庄内平野のドローン動画を収録しています。お米の調理の学習と関連させることで、実際の米づくりのイメージがふくらみます。



## 修学旅行や校外学習に



修学旅行に行く場所の地図が印刷できるといいな。

↑ 京都・奈良(p33-34)、東京(p45-47)、鎌倉、日光の地図をQRコンテンツに収録しており、一人一台端末で確認したり印刷したりすることができます。

## 短時間の定期的な学習に

**ホップステップマップでジャンプ!**

1 ■ レベル☆☆

これは、博士の朝ごはんです。この食材はこの国から来たものか、この地図から探してみよう。

**ホップステップマップでジャンプ!**

30 ■ レベル☆☆☆

つぎのものは近畿地方の各府県にあるかな? 29~32ページを見て、あるものに○をつけよう。また、すべてある府県はどこかな。

|      | 海 | 空港 | 世界遺産 | 人口100万人以上の都市 |
|------|---|----|------|--------------|
| 三重県  |   |    |      |              |
| 滋賀県  |   |    |      |              |
| 京都府  |   |    |      |              |
| 大阪府  |   |    |      |              |
| 兵庫県  |   |    |      |              |
| 奈良県  |   |    |      |              |
| 和歌山県 |   |    |      |              |

短時間の学習でも気軽に地図帳が楽しく活用できる手立てがあるといいな。

← 問いと作業のコーナー「ホップステップマップでジャンプ!」を掲載しており、地図帳を見ながら短時間でも楽しく取り組むことができます。

**ホップステップマップでジャンプ! がんばりシート**

星が増えると、地図がランクアップ!

|     |        |
|-----|--------|
| 星6こ | ダイヤモンド |
| 星5こ | プラチナ   |
| 星4こ | ゴールド   |
| 星3こ | シルバー   |
| 星2こ | ブロンズ   |
| 星1こ | ペーパー   |

← 「ホップステップマップでジャンプ!」は、QRコンテンツで解答と「がんばりシート」を用意しています。「がんばりシート」は、解いた問題の星の数を進めていくことで世界を一周できるようになっており、短時間の定期的な学習に最適です。

『新編 新しい地図帳』の詳しいポイントや活用例は、内容解説資料やウェブサイトでご確認ください。



アクセスはこちら

# 「新編 新しい地図帳」 検討の観点と内容の特色

| 観点         | 観点項目                          | 「新編 新しい地図帳」の特色   |
|------------|-------------------------------|--|
| 学習指導要領への対応 | 学習指導要領に示されている教科の目標達成のための内容の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地球儀を効果的に活用し、国土に対する地理的理解や社会生活への理解を深める学習を進められるよう配慮した内容としています。</li> <li>広い視野から国土を眺めることができる地図を複数配置し、日本の位置および範囲、領土に関する問題、自然災害と防災などについて正確な理解が図れるようにしています。</li> <li>我が国の歴史や伝統・文化に関する内容を充実させています。➡15-16日本とそのまわり、17-18日本列島—九州から北海道—、77-80日本の歴史①②、97-99日本の自然災害 など</li> </ul>   |
| 内容         | 児童の発達段階への配慮                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生からの使用をふまえ、地図の仕組みと約束事をわかりやすく解説した、地図学習のページを新設しました。➡7-12空からまちを見てみよう、地図のきまり◆方位◆、地図のきまり◆凡例、きより◆</li> <li>小学校の発達段階をふまえ、地図帳としての十分な資料性をそなえながら、児童に負担にならない適切な情報量となるように配慮しました。</li> <li>中学校の地図帳との接続を見すえ、小学校段階での学習の充実と発展を図ることができるよう、内容をよく吟味、精選し、地図に親しみかもてるように工夫しました。</li> </ul>  |
|            | 児童の関心・意欲を引き出すための工夫            | <ul style="list-style-type: none"> <li>冒頭の世界と日本の地図で、世界や日本の様々な事物を紹介し、児童の「何があるんだろう」「地図帳で調べてみたい」という意欲を喚起するようにしました。➡1-3地図のぼうげんに出発! World Map、4-6日本の47都道府県</li> <li>二次元コードからアクセスできるQRコンテンツを多数掲載し、白地図や地形がわかるドローン動画、クイズなどの多様なコンテンツを手軽に活用できるようにすることで、地図学習への関心・意欲が高まるようにしました。</li> <li>新コーナー「ホップステップマップでジャンプ」を随所に設置し、70の問いと作業に取り組むことで、楽しく地図学習に取り組めるようにしました。また、QRコンテンツに「ホップステップマップでジャンプがんばりシート」を掲載し、到達度を確認しながら意欲的に取り組めるようにしました。</li> <li>男女の児童キャラクターのほか、ソーヤ博士やポラリスなどの親しみやすいキャラクターを随所に置いて、地図活用の手がかりを児童の言葉で提示するようにしました。</li> </ul> |
|            | 基礎的・基本的な知識・技能の習得              | <ul style="list-style-type: none"> <li>地図記号、索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用といった基礎的・基本的な地図の読み方を丁寧に解説しています。また地球儀の活用の仕方について、写真でわかりやすく説明しています。➡9-10地図のきまり◆方位◆、11-12地図のきまり◆凡例、きより◆、53-54世界全図と地球儀 など</li> <li>離島にある市町村も含め、地図および索引で全市町村名を網羅しています。</li> <li>QRコンテンツには、クイズや動画で地図のきまりや都道府県名、地名などの習得に取り組めるコンテンツを掲載しています。➡4-6日本の47都道府県、QRコンテンツ「なるほど! 47都道府県クイズ」 など</li> <li>日本は標準的な地方区分ごとに、世界は州ごとに、原則として縮尺を統一した地図を配し、適宜拡大図を設けて、各地域の地理的理解を深めるとともに、位置関係を調べたり、地域相互の結びつきや比較ができるようにしたりするなど、多面的な学習が展開できるように構成しました。</li> </ul>                         |
|            | 主体的に学習に取り組む工夫                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本と世界の一般図に続く、資料地図(主題図)のページでは、多様なテーマの主題図を大きく表現し、ページごとに読み取りやすく、学習のねらいを明確にして児童が理解しやすいようにしています。➡67-82日本の自然/工業/産業/貿易/歴史/伝統文化</li> <li>使用頻度の高い統計資料、索引に十分なページをとり、適度な行間をとって見やすくしました。また索引にはチェック欄を設けて積極的な活用ができるようにしました。➡83-86日本と世界の統計、87-96さくいん(合計10ページ)</li> </ul>   |
|            | 地図・資料の特徴                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>A4の判型を生かして、広い範囲を紙面に収めています。➡23-24福岡県とそのまわり、25-26中国地方 など</li> <li>中部地方のうち、独自に結びつきの強い北陸地方を別建てで示しました。➡37-38福井県、石川県、富山県</li> <li>主な歴史の舞台(青い枠囲み)、世界遺産、ラムサール条約や世界ジオパークの登録地などについて、個別の記号を設けて注目させるようにしました。➡13「凡例」を参照</li> <li>各地の伝統工芸品や名産品、郷土の偉人に関する記念館などを多数取り上げ、郷土に対する誇りと愛情をはぐくむようにしています。➡49「雄勝硯」「稲庭うどん」「わんこそば」、39「新美南吉記念館」「杉原千畝記念館」 など</li> <li>世界の国々と国旗を一覧で掲載しています。➡100-102世界の国々と国旗</li> </ul>   |

| 観点             | 観点項目                | 「新編 新しい地図帳」の特色   |
|----------------|---------------------|--|
| GIGAスクール構想への対応 | 「一人一台端末」環境に対応した工夫   | <ul style="list-style-type: none"> <li>紙面の随所に二次元コードを設け、当該ページの地図などに関連した白地図やクイズ、動画などの多様なコンテンツを手軽に活用できるようにしました。</li> <li>制度上の学習者用デジタル教科書を発行します。</li> <li>教師用指導書に指導者用デジタルブックを同梱して販売します。指導者用デジタルブックは、学習者用デジタル教科書と同一のビューア(Lentrance Reader)で使用できます。</li> </ul>   |
| 構成・分量          | 組織的・系統的な配列          | <ul style="list-style-type: none"> <li>世界と日本のイントロダクションとなる地図(1-6)に始まり、日本列島を見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の州ごとの地図、資料図、統計資料、索引と系統的に配列され、扱いやすい構成です。</li> </ul>  |
|                | 他教科等や家庭での活用につながる工夫  | <ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コードからアクセスするQRコンテンツに、各都道府県の地図と白地図をPDFデータで収録し、一人一台端末を活用して、様々な教科の学習でも手軽に活用できるようにしました。</li> <li>外国語の授業に活用できるよう、世界地図の国名および大陸名と海洋名の欧文表記を併記しています。➡55-66世界の州ごとの地図、53-54世界全図と地球儀</li> <li>日本の地形や気候、自然災害の資料図は、理科でも活用できます。➡67-70、97-99</li> <li>世界の料理や日本の郷土料理の資料は、家庭科でも活用できます。➡62、82</li> <li>オリンピックとサッカーワールドカップ開催地の地図は、体育でも活用できます。➡85</li> <li>東京および京都や奈良の都市図、QRコンテンツで掲載している鎌倉や日光の都市図は、修学旅行や校外学習、家族での旅行などでも活用できます。➡33-34京都市、奈良市、斑鳩町、45-47首都東京、QRコンテンツ「鎌倉」「日光」</li> <li>日本地図、世界地図の中に、国語や音楽、道徳などの学習に役立つ人物イラストや、記念館などを豊富に掲載しています。➡25「金子みすゞ記念館」、49「宮沢賢治記念館」、55「植村直己」、59「野口英世」、61「杉原千畝」「ベートーベン」 など</li> </ul> |
|                | 深い学びにつながる工夫         | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ホップステップマップでジャンプ」のコーナーでは、児童が取り組める70の問いと作業を設定し、地図学習を深められるようにしました。</li> <li>日本の歴史を学びながら、同時代の世界の様子がわかる、世界スケールの歴史地図を掲載しました。➡77-80日本の歴史①②</li> <li>日本の自然災害について、日本列島全体の災害地図を配し、地形や気候などとの関係から災害の起きる要因や防災対策について考察させるようにしました。また海溝やトラフについても記載しています。➡97-99日本の自然災害</li> <li>二次元コードからアクセスするQRコンテンツを多数掲載し、都道府県地図や白地図、地形がわかる動画などを活用して学習を深められるようにしました。➡二次元コードからアクセスするQRコンテンツ</li> </ul>   |
| 表記・表現          | 親しみやすく読みやすい表記       | <ul style="list-style-type: none"> <li>地図中の文字や記号は大きく、字体(フォント)も丸ゴシック系の親しみやすいものにしました。特に地名表記は白い縁取りをして見やすくしました。</li> <li>読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン(UD)書体を使用しています。</li> <li>地名はすべてに、その他の文章などは3年生配当以上の漢字にふりがなをつけています。</li> </ul>   |
|                | 見やすく鮮やかな彩色・色調       | <ul style="list-style-type: none"> <li>海底部の青色、都市部の黄色、平地の緑色から高地の黄土色までメリハリのある色調で表現しました。反射がきつすぎない用紙を用いて、目が疲れないように配慮しています。</li> </ul>  |
|                | 色覚特性への配慮            | <ul style="list-style-type: none"> <li>色のみによる文字や図形の判別を避け、形を変えて区分するようにしています。➡77-80日本の歴史(行路の線の表現)、83-84日本の統計(上位5位までを赤色の太字で示す)、85オリンピック(夏季と冬季の区別)とワールドカップ など</li> <li>カラーユニバーサルデザインに取り組むボランティア団体の協力を得て、色にかかわる表現を点検するとともに、だれも見やすくわかりやすいレイアウトを心がけました。</li> </ul>  |
| 印刷・製本          | 堅牢な製本、環境に配慮した用紙とインク | <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生から6年生までの4年間の使用に耐えるよう、丈夫な糸かがり製本を用いています。また、中央部(ノド)は十分に開いて紙面が見やすくなるようにしました。</li> <li>折込ページの折り目部分にニス引き加工を施し、破れにくくなるよう強化しています。</li> <li>本文ページには発色が良く、光の反射を適度に抑えた用紙を使用しています。すっきりと見やすいだけでなく、児童が書き込みをする場合にも対応しています。</li> <li>環境に配慮した用紙・植物油インクを使用しています。</li> </ul>  |